令和８年度　目黒区立鷹番小学校　学校グランドデザイン

Research：各種調査等による実態

〔学校の実態〕
- 通常学級　１５
- 特別支援学級　３
- 特別支援教室　１
- 児童数　４３７　名
- 教員　２５名

〔児童の実態〕
(1)区の学力調査
　全体的に各教科において、思考力・判断力・表現力の活用力を付けることが必要であり、体験的学習、少人数指導を推進して向上させる必要がある。基礎的な知識・技能を活用する場面では成果を上げている。
(2)四者調査
　子どもたちが生き生きと活動できる環境となっていて、安心できる。あいさつ運動の成果であいさつができる子どもが増えてきていると感じる。

〔保護者・地域の実態〕
・四者評価結果
　家庭・地域とも学校に信頼を寄せてくださるとともに、連携や協力を惜しまない。
　教育活動への興味・関心も高く、学校からの情報発信も良好と捉えている。

・PTA や住区の特色
　地域の行事も多く、学校の教育活動にも積極的に参加するなど協力体制が整っている。

校長の経営方針

■基本方針
「４０分授業午前５時間制」で生み出した時間を効果的に活用し、学びと生活の質の向上を図り、自主的・実践的な態度の育成を図る学校経営を行う。

■午前５時間制のビジョン
〇児童の深い学びを支えるカリキュラム
〇児童や教職員の実情に合わせた柔軟なカリキュラム
〇学びと生活の質の向上を支える教員の時間の確保

目指す児童像

■「やさしく　かしこく　たくましく」の鷹番小学校
◎やさしく　・・・やさしく思いやりのある子ども
〇かしこく　・・・進んで考え、学び合う子ども
〇たくましく・・・たくましく、ねばり強い子ども

午前５時間制一単位時間４０分授業を生かすＰＤＣＡ

学びと生活の質の向上と自主的・実践的な態度の育成

自己選択学習（自己調整の学びを進める）
　児童が興味・関心のある課題や内容、方法等を自ら選択し、課題解決的な活動を行うことで、自己調整の学びを進めながら、深い学びにつなげることをねらいとする。カリキュラム上、「チャレンジタイム」、「パワーアップタイム」、「たかばんタイム」を中心に行う。

チャレンジタイム
〇目的：児童が課題を自ら選択し、課題解決することで、自主的な態度をはぐくむ。
〇対象：全学年
〇時間：原則金曜日の６校時
　第１～３学年（40 分間）
　第４～６学年（60 分間）
〇内容：日々の学習や日常生活の中から発展的な内容を中心に行う。

パワーアップタイム
〇目的：児童が課題を自ら選択し、活動することで、自主的な態度をはぐくむ。
〇対象：全学年
〇時間：原則火曜日の昼（20 分間）
〇内容：スポーツテストの種目や１校１取組に関わる運動などに取り組む。

たかばんタイム（めあてと振り返りの時間）
〇目的：児童が自らめあてを立て、日々の学校生活の中で意識して行動し、それを振り返ることで自分の成長を実感し、自己の学習や生活への見通しをもつ。
〇対象：全学年
〇時間：原則月曜日（20 分間）
〇内容：学習のめあてや計画的な学習計画、生活のめあてなどの立案や再確認、それを意識して生活できたかを振り返る。また、自分の願いに基づいた活動を実施する。

ぽかぽかタイム
〇目的：異学年の児童が交流を深めるとともに、活動を通して自主的・実践的な態度をはぐくむ。
〇対象：全学年
〇時間：原則月１回の水曜日の１コマ
〇内容：６年生が中心となって計画した縦割り班遊びや年に１度の全校遠足。活動ごとのお互いのよさを見つけや自分の取組について振り返りを行う。

マイタイム
〇目的：基礎基本の学習内容や読書習慣の定着
〇対象：第１学年～第３学年（原則６校時のない学年）
〇時間：毎週、月・火の放課後 20 分間
〇内容：漢字や語句、四則計算の習熟・読書

子どもの学びや生活を支える

コンテンツタイム
〇目的　教材研究
〇時間　月曜日（週１回程度）の放課後 40 分間
〇内容　学年ごとに学年主任が中心となって単元計画や授業デザイン、効果的な発問等について研修する。各教科の単元のねらいや進め方、学習内容の精選や重点化について共有し、４０分授業・６０分授業の活用を含め、単元や授業デザインを構築する。

アセスメントタイム
〇目的　児童理解
〇時間　火曜日（月２回程度）の放課後 40 分間
〇内容　計画的に対象の学年を決め、個々の児童の学びや生活の視点から、実態把握や支援方法を共有する。

スキルアップタイム
〇目的　教員の指導力向上
〇時間　木曜日（月１回程度）の 40 分間の設定。
〇内容　若手研修会や課題研修会等研修する対象者や内容を決めて行う課題 OJT
※その他の教員研修
・校務分掌上の仕事に取り組みながら行う校務分掌 OJT
例 常置委員会 各種行事委員会など
・学年や学年分科会などを中心にした学年 OJT　例 学年会 学年分科会

学びの基本の確立「鷹番スタンダード」

＜１単位時間の授業デザイン＞
・授業のねらいと評価の明確化
・授業のめあて、まとめの板書の仕方
・見通し、伝え合い、学習用情報端末の活用の視点からの指導の工夫

＜一単位の単元デザイン＞
・児童が見通しのもてる学習過程の工夫
・主体的、対話的で深い学びの視点からの単元計画

「鷹番の一週間」

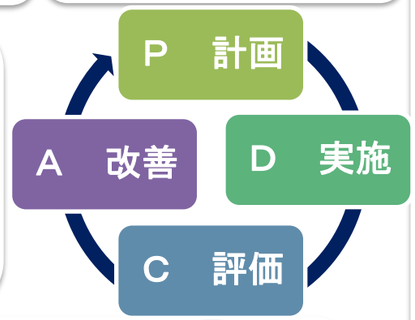
〇学習指導
言語活動を充実させ、ＩＣＴ機器を活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図り、児童の学習意欲を喚起し、自主的・実践的な学習態度を育成する。

〇生活指導
基本的な生活習慣の定着と実践力の向上に向け、全校的な体制で落ち着いた秩序ある学習環境・生活環境の実現に取り組む。

〇特別活動
集団の一員として、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組むことを通して、合意形成を図ったり意思決定したりすることができるようにする。また、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

〇教職員
・互いの良さを組織に生かし、日々の指導を工夫し、魅力ある授業、魅力ある活動を創り出す。
・各分掌で協力しながら学校の諸課題の解決に向けて対応する。

改善検討組織
〇教育課程委員会
〇研究推進委員会
〇特別活動委員会
〇生活指導委員会
※月に１回、開催。



対象	評価項目	評価状況
児童	区学力状況調査	各教科平均正答率　６９％以上
	i-check	「すきな教科や授業はありますか」 肯定的回答平均値９５％以上
	i-check	「あなたは授業や日常生活の中で、不思議だな、どうしてだろうと調べていますか」 肯定的回答平均値６５％以上
教員	学校評価	「教職員は、子どもたちの学力の定着・向上のために主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行っている」 肯定的回答平均値９５％以上
保護者	学校評価	「授業は落ち着いた雰囲気の中で学習が進められている」 肯定的回答平均値８５％以上